



ふくせんレポート

2025
12|17

第23号

1～3面 国際福祉機器展 H.C.R.2025 ふくせんセミナー

4面 告知：第7回福祉用具専門相談員研究大会

※「知識PLUS」「住宅改修事例」は休載させていただきます。

H.C.R.2025ふくせんセミナー（10/8 in東京） 質の高い福祉用具サービスの実現に向けて 「老健事業に学ぶ福祉用具専門相談員 の資質の向上」

10月8日（水）から10日（金）、第52回国際福祉機器展 H.C.R.2025 が開催された（於：東京ビッグサイト（東京都江東区））。好天に恵まれた3日間、本会はブース出展を行い、活動内容・成果の周知や資料等の配布に務めた。また、初日にはふくせんセミナー「老健事業に学ぶ福祉用具専門相談員の資質の向上」を開催。事前申込者と当日申込を合わせて参加者が60名を超え、急遽立見席も準備する等盛況に開催された。

今回のセミナーは、令和6年度に行われた、福祉用具に関わる厚生労働省老人保健健康増進等事業（以下、老健事業）において、本会を含む3団体が実施した調査研究の成果をもとに制度の理解促進と現場への活用を目的として開催したものである。とりあげた3つの事業は次のとおり。

- 福祉用具の事故防止に向けた体制強化に関する調査研究事業（一般社団法人日本福祉用具供給協会）
- 福祉用具サービスの適切なPDC Aの実現に向けた調査研究事業（三菱総研グループエム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社）
- 福祉用具専門相談員指定講習カリ



岩元 文雄（いわもと ふみお）氏
本会理事長

キュラムの適切な実施に向けた調査研究事業（一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会）

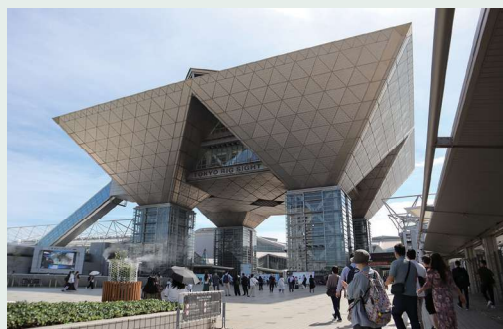
開会にあたって岩元理事長は、「我々は職能団体として、質の高い福祉用具サービスを実現するために、人材育成を優先課題とし、福祉用具専門相談員全体のレベル向上を目指

している。本セミナーで老健事業の調査結果等を再確認し、福祉用具専門相談員の資質向上について皆様と一緒に考えたい」と語った。

コーディネーターは、3つの老健事業の委員長を務めた、渡邊慎一氏（所属等は2頁参照）。また、厚生労働省の野上雅子氏（所属等は3頁参照）をお招きし、セミナーの内容についてご講評いただくとともに、令和7年度老健事業の現状や、福祉用



ふくせんブースの様子（10/8）。
「お立ち寄りくださった皆様、運営にご尽力くださった皆様、ありがとうございました」（事務局）。



リアル展示への来場者数は、初日から4万人を超え、3日間で、述べ121,137人となった（主催者発表）。